

農業ひろさき

2022年3月1日 (第193号)

(令和4年3月1日)

編集と発行：弘前市農業委員会

弘前市大字上白銀町1-1 前川本館3階 電話0172-40-7104



令和3年度農業後継者りんご整枝せん定競技会

市農業委員会主催の令和3年度農業後継者りんご整枝せん定競技会が、1月17日に市りんご公園で開催され、農業後継者がせん定技術と知識を競い合いました。

この競技会は、せん定技術の向上と参加者同士の交流を目的として毎年開催しているもので、今年は市内の若手生産者5組(3人1組)と個人1人の計16人が参加しました。

競技会に先立ち、花田幸男青森県りんご協会特別講師による模範せん定が行われた後、参加者それぞれに割り当てられた一本の樹をせん定する実技試験と、りんごに関する知識を問う筆記試験が行われました。

また、競技終了後は、弘前市と慶應義塾大学の共同開発による、VR(仮想空間)を活用した「せん定学習支援システム」の体験会も行われました。



せん定技術を指導する
花田講師



VR体験をする参加者



閉会式終了後に参加者みんなで

競技会の結果は次のとおりです(敬称略)

- ◆弘前市長賞(優勝した団体と個人)
弘前市農業委員会会長賞(優勝~第3位の団体と個人)
- ◎団体の部 優勝…五代りんご支会
準優勝…相馬組
(JA津軽みらい石川地区青年部)
第3位…相馬農業青年の会B
- ◎個人の部 優勝…木村亮太(五代りんご支会)
準優勝…木村和史(五代りんご支会)
第3位…長内拓弥(相馬農業青年の会A)
- ◆青森県りんご協会会長賞(実技で優勝した団体と個人)
- ◎団体の部 五代りんご支会
- ◎個人の部 木村亮太(五代りんご支会)



五代りんご支会

木村和史、木村亮太、笹 混一

団体の部 第1位



相馬組

小田桐拓也、相馬孝亮、相馬翔太

団体の部 第2位



相馬農業青年の会B

中澤 廉、熊谷光太、三上 慧

団体の部 第3位



優勝 木村亮太(中)
準優勝 木村和史(左)
第3位 長内拓弥(右)
個人の部

令和3年度りんご栽培講座

- ◆日時 3月16日(水)~17日(木)
午前10時~12時、午後1時30分~3時30分
- ◆場所 りんご公園(清水富田字寺沢)
「りんごの家」2階研修室・園地
- ◆内容 3月16日(水) 午前①りんごづくりの12ヶ月
午後②りんごの品種について
3月17日(木) 午前③りんごの病害虫防除について
午後④剪定・接ぎ木について

※①~③はりんご公園とりんご研究所を繋いだオンライン講座を予定

- ◆講師 青森県産業技術センターりんご研究所、青森県りんご協会
- ◆対象 弘前市及び近隣のりんご生産者等 30名
※2日間受講できる方(事前申し込み/先着順)
- ◆受講料 無料
- ◆持ち物 筆記用具、防寒具

※新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、中止または内容変更する場合がございます。

■問い合わせ・申込先 りんご公園 ☎36-7439

『パワーアップる! 弘前産りんごPRキャラバン』

弘前りんごの会(会長・櫻田宏市長)では、昨年10月から「パワーアップる! 弘前産りんごPRキャラバン2021」を実施し、弘前産りんごの魅力を全国に発信しました。

新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、大部分の市場やスーパーでのイベントは実施できなかったものの、国内の12エリアから14エリアに拡大し、スーパーで弘前産りんごを販売する「アップルウィーク」を実施しました。

令和3年産りんごのおいしさを多くの消費者に伝えるとともに、「りんごのまち弘前」の知名度アップに繋げ、弘前産りんごの消費拡大に努めました。



キャンペーンガール りんご娘

弘前市土地改良事業等補助金について

農村整備課では、下表の補助事業を実施しております。下表に記載されている補助事業の詳しい内容を知りたい方、事業の活用をお考えの方は、問い合わせ先へご連絡ください。

事業名	主な事業内容	主な採択基準	補助率
かんがい排水事業	農業用排水路などの新設または変更事業	・受益面積20㌖以上 ・事業費10万円以上	50%以内
小規模農道整備事業	農道等に舗装(コンクリートまたはアスファルト)を行う事業	・受益面積20㌖以上 ・延長50㌢以上 ・幅員2㌢以上	55%以内
	農道等の舗装補修を行う事業(穴埋めなどの簡易な補修は除く。)	・受益面積20㌖以上 ・事業費10万円以上 ・幅員2㌢以上	45%以内
	農道に砂利を敷く事業	・受益面積20㌖以上 ・厚さ6㌢以上 ・幅員2㌢以上	35%以内
農業用安全施設整備事業	農業用施設で転落事故などの危険性が高い箇所に安全施設を設置する事業	・受益面積20㌖以上 ・事業費10万円以上	40%以内

※上記各種事業の補助対象者

(1) 土地改良区 (2) 農業協同組合 (3) 共同施行者(当該事業を共同で行う、数人の者で構成)

■問い合わせ先 農村整備課農村整備係(市役所前川本館3階) ☎40-2955

りんごの落葉を収集・処理して病気の発生を防ごう!

りんご黒星病の発生を抑えるには、薬剤による防除だけでなく、菌の密度を低く保つことが重要です。

特に、落葉を収集して土中に深く埋めたり、園外に持ち出して処理することで、感染リスクを抑える効果が確認されています。また、斑点落葉病等の感染源を減少させることも期待できます。

落葉の収集等に適した期間は落葉後から根雪前まで、あるいは、雪どけ後から発芽・展葉頃までと短く、また、作業には多大な労力が必要です。

この省力化を目指し、機械メーカーやりんご研究所等が共同開発した「落葉収集機」が本年3月、30万円程度で販売されます。

中南地域県民局の調査では、落葉収集機をけん引した乗用草刈機で園地内を3周程度走行することで、ほとんどの落葉を人力の約30倍の速さで収集することができました。

落葉収集処理により、黒星病等の病害が発生しにくい園地づくりを目指しましょう。



開発中の落葉収集機(R3.4)

■問い合わせ先 青森県中南地域県民局地域農林水産部農業普及振興室 ☎33-2903

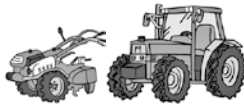
農地の受け手・出し手募集中! 詳しくは農業委員会事務局まで

令和4年度弘前市農作業省力化・効率化対策事業費補助金

市では、農業者が農作業の省力化・効率化を図るための取り組みを支援します。

■公募期間

2月14日（月）～3月11日（金）



■対象者

市内農業者、市内に本店を有する農地所有適格法人、市内農業者で組織する団体。

■事業内容と補助対象経費

- ①農業機械導入…農業経営に要する機械の導入にかかる経費
- ②農業用ハウス整備…農業用ハウスの整備にかかる経費
- ③集出荷環境整備…ほ場内での荷さばき場や作業道の整備にかかる経費

■補助率・補助上限額

補助対象経費の実支出額（税抜き）の3分の1に相当する額以内（上限…①・②= 50万円／③= 23万円）

※【新設】認定新規就農者および一定の要件を満たして規模拡大を行った認定農業者については、補助対象経費の実支出額（税抜き）の2分の1に相当する額以内（上限…①・②= 100万円／③= 40万円）

■その他

項目（認定農業者、認定新規就農者、青色申告を実施している者、収入保険制度加入者ほか）ごとにポイントを設定し、より多くのポイントを獲得した応募者から採択します。

提出書類および詳しい要件などについては、お問い合わせください。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、必ず下記問い合わせ先に電話予約の上、お越しください。

※本内容は令和4年度予算案に基づくものであり、予算の成立をもって実施することとなりますので、今後内容等に変更が生じる場合があります。

■問い合わせ・応募先

農政課（市役所前川本館3階）

- ①の事業については 農地支援係 40-0656
- ②の事業については 農産係 40-0504
- ③の事業については 地域経営係 40-7102

春の農作業安全運動実施中

農作業が本格化するこれからの季節は、農作業事故が多くなります。

昨年は、残念ながら重大事故・死亡事故が発生してしまいました。農業従事者の死亡事故の発生割合は、日本の全産業平均の約9倍にもなります。一人ひとりが安全を意識し、農作業事故を無くしましょう！

◆農作業安全のポイント！

- ①慣れた作業でも油断せず、注意して行いましょう。
- ②自分を過信せず、疲れを感じる前に十分な休憩を取りましょう。
- ③一人での作業は避け、やむを得ず一人でやる場合は、家族に作業場所を伝え、携帯電話を持ちましょう。
- ④地域全体で注意を呼びかけましょう。

◆弘前市内での重大事故の発生件数

- 令和元年 ⇒ 事故5件（うち死亡事故4件）
- 令和2年 ⇒ 事故0件
- 令和3年 ⇒ 事故5件（うち死亡事故3件）



■問い合わせ先

農政課農産係（市役所前川本館3階） ☎40-0504

農振除外申出5月2日締切

農地転用、その前に・・・

市では、農業振興のために利用・保全すべき土地を、『農用地区域』として設定しています。

この区域内の農用地を住宅用地や農業用施設用地（倉庫、資材置き場など）といった耕作以外の目的で使用する場合は、市が設定している区域から除外するなどの手続きが必要となります。

5月2日を過ぎますと、次回分は、8月1日が締切となる予定です。

また、農振除外の手続きは、申出締切から約6ヶ月以上の期間を要しますので、早期の事業着工を予定している方は予めご留意ください。

なお、受付・相談は、農用地の所在する各地区の担当課窓口で行っています。

■問い合わせ先

- 【弘前地区】農政課地域経営係（市役所前川本館3階）
☎40-7102
- 【岩木地区】総務課農林係（岩木庁舎1階）
☎82-1621
- 【相馬地区】総務課農林係（相馬庁舎1階）
☎84-2111



「農地中間管理事業」農地の集約化・規模拡大を支援します！

農業情報は、市のホームページからも！

市のホームページには、市補助事業の概要など各種農業情報や注目してほしい新着情報を掲載しています。ぜひ活用ください。

◆農業情報検索方法

弘前市ホームページ内の

「トップ」→「農業・商工業・観光」→「農業情報」



令和4年農作業臨時雇用標準賃金を決めました

市農業委員会では、令和4年の農作業臨時雇用標準賃金について、下表のとおり決めました。

作業員の臨時雇用や農作業を委託する場合に、農業者の皆さんの目安にしてもらうため毎年設定しているもので、当事者間で賃金を取り決める際の参考としてご利用ください。

作業名		金額(円)	備考	
雇用賃金	田植え	6,600	1日(8時間)当たり まかない抜き	
	稲刈り	6,600		
	整枝せん定	9,700		
	人工授粉	6,600		
	摘花・摘果	6,600		
	袋かけ	6,600		
	除袋・葉とり・収穫	6,600		
農作業一般	6,600			
オペレーター	トラクター	1,100	1時間当たり まかない抜き	
	乗用田植機	1,100		
	コンバイン	1,200		
	スピードスプレヤー	1,000		
請負料金	水田耕起	5,200	10畝当たり 機械・運転手付き まかない抜き	
	畑耕起	5,000		
	荒かきのみ (または、代かきのみ)	4,600		
	荒代かき	5,800		
	田植機	苗なし		5,900
		稚苗付き		19,300
		中苗付き		26,000
	コンバイン	乾燥なし		16,100
		乾燥まで		28,000
	ロールベアラー(糸なし)	3,200		
乾燥機	1,300	1俵当たり(生脱穀)		
スピードスプレヤー	5,500	1,000%、薬剤費別		

(注)実労働時間は1日当たり8時間を標準とし、超過した場合は時間当たりで換算してください。

※参考 青森県最低賃金は、令和3年10月6日から時給822円に改定されました。

■問い合わせ先 農業委員会総務係(市役所前川本館3階) ☎40-7104

全国農業新聞購読のご案内



全国農業新聞は、1週間の農政の動きや、現場で役立つ栽培技術・流通の情報、魅力的な農家の取り組みなどを幅広く伝えることを目的に、地域農業者の代表機関である農業委員会ネットワークが発行する農業専門紙です。ぜひ購読ください。

- ◆発行日 毎週金曜日
- ◆購読料 月額700円(税・送料込)
- ◆お支払 全国農業会議所による年2回(1月、7月) 4,200円の口座振替

【市ホームページ】

農業・商工業・観光 > 農業情報 > 農業委員会について > 全国農業新聞の購読申込みは農業委員会まで

■購読申込み・問い合わせ先

地区の農業委員または農業委員会事務局総務係(市役所前川本館3階) ☎40-7104

農地流動化情報

農業委員会では、農地の有効利用と遊休農地解消対策として、「農地を貸したい、売りたい」または「借りたい、買いたい」などの情報を提供しています。

申出区分	整理番号	農地の所在	現況地目	利用状況	面積	希望価格	備考
売りたい	1213	宮地字富田48-3 外1筆	畑	休耕	3,137㎡	交渉次第	貸借も可 10a当たり 5,000円
	1215	高岡字神馬野19 外3筆	田	休耕	4,874㎡	10a当たり 500,000円	価格は 交渉次第
	1216	鬼沢字山ノ越5-107	畑	休耕	2,113㎡	交渉次第 (無償も可)	貸借も可
	1222	新法師字向野6-59	畑	休耕	4,229㎡	交渉次第	貸借も可
	1223	如来瀬字大久保平323 外2筆	畑	保全管理	6,071㎡	交渉次第	貸借も可
	1224	笹笛字市原103-1 外2筆	田	保全管理	3,913㎡	10a当たり 200,000円	貸借も可 10a当たり 15,000円
	1229	一町田字村元822 外1筆	田	休耕	1,185㎡	交渉次第	
	1230	富栄字山辺60-2	畑	休耕	1,410㎡	交渉次第	貸借も可
	1232	新岡字山本9-1 外3筆	樹園地	一部りんご	14,879㎡	交渉次第	貸借も可
	貸したい	1212	宮地字富田1-15 外1筆	畑	休耕	203㎡	10a当たり 5,000円

このほかの情報もありますのでお問い合わせください。なお、市のホームページからも情報提供を行っています。



トップページ > 農業・商工業・観光 > 農業情報 > 農地に関すること > 農地流動化情報

■取扱窓口及び問い合わせ先

- ①農業委員会農地利用促進係(市役所前川本館3階) ☎40-7104
- ②農業委員会岩木分室(岩木庁舎1階) ☎82-3111 内線611
- ③農業委員会相馬分室(相馬庁舎1階) ☎84-2111 内線805